

七、經過交渉状況

勞働者側ニアリテハ從來減收ヲ續ケ来リ生活不安ノ折柄臨時休業ノ延引ハ一層ノ不安ヲ増大スルニ至リタル為東京鉄工組合執行委員熊本虎藏ヲ代表トシテ休業中ノ手當ヲ支給スルカ或ハ何等カノ救済策ヲ講ゼラレタシト數時接衝スル處アリタルカ事業主ニ於テハ前記ノ經濟狀態ニテ如何トモスル能ハズ結局會社所有ノ機械器具等ノ所有權ヲ職工ニ讓渡シテ一時沈靜セシメタルカ事業主側カ休業中ノ日給ハ勿論予告手當サヘ支給不能ノ狀態ニテ全ク再起ノ見込ナキ為客月三十日従業員一同ノ名ヲ以テ前項ノ要求書ヲ事業主ニ提出シ合所八下ノ又當地ヲ爭議因本部トテ爭議準備中トシテ下ニ維持ニ不穩行動ナリ

勞働第三六〇三
昭和五年十月十一日
警視總監
丸山 鶴吉

5. 10. 16
15/6

労働大臣 是 藤 蔵 殿
社 會 局 長 官 殿

昭和重鋳金合資會社ノ勞働爭議ニ係スル件 (第二報)

要旨 従業員側ハ其ノ後不穩ノ行動ナリ各債權者ニ歴訪シ工場再起ノ為ノ斡旋方ニ懇願シ一面事業主ニ対シテ管理費ヲ恒シタルカ見込ナシト拒絶サレ更ニ手當金ヲ要求シテ折衝中

標記労働爭議ノ其ノ後ノ状況ニ記ノ通り

記